

# 単位や学名等の記載方法について

JAB NL512 : 2015

第 1 版 : 2015 年 10 月 1 日

公益財団法人日本適合性認定協会

## 目次

1. 参考文献.....	3
2. 表記の仕方（単位、学名、その他）.....	3
3. 間違いやすい表記.....	6
4. ワードにおける半角記号の例.....	7

## 単位や学名等の記載方法について

### 1. 参考文献

1. “The International System of Units (SI) -8<sup>th</sup> edition 2006”  
Bureau International des Poids et Mesures ( BIPM:国際度量衡局)  
(<http://www.bipm.org/>)
2. “国際文書 第 8 版 ( 2006 ) 国際単位系(SI) 日本語版” \*1.の和訳版  
訳・監修 (独)産業技術総合研究所 計量標準総合センター  
(<https://www.aist.go.jp/>)
3. “国際単位系(SI)は世界共通のルールです -国際文書 第 8 版(2006)対応-”  
独立行政法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター
4. “JIS Z 8000-1 量及び単位-第 1 部”  
日本規格協会
5. “JIS K 0211 分析化学用語 ( 基礎部門 ) ”  
日本規格協会

### 2. 表記の仕方 (単位、学名、その他)

	字体や書き方のルール	例
数値と単位の組み合わせ	数値と単位の間スペース(通常は半角)を入れる。	345.36 mm、 20.0 °C、9.32 m/s、 981.7 hPa
範囲	100 ~ 200 °C は好ましくない。	100 °C ~ 200 °C 、 または (100 ~ 200) °C
パーセント	%は SI 単位ではないが、数字と記号%の間には空白を挿入する。ppm も同じような意味でしばしば用いられる。ppb や ppt などの用語の意味は原語に依存するため、使用はできるだけ避ける。	100 %
平面角の単位 °(度)、 '(分)、"(秒)	数値と記号を直結する(半角スペースを空けない)。	90°、30'、60"

	字体や書き方のルール	例
量の記号	<p><b>斜体 (Italic)</b></p> <p>文章中でも、量記号として扱うときは<b>斜体</b></p> <p>注：添字は次の原則を適用する。</p> <p>a) 物理量又は順序数のような数学的変数を表す添字は、<b>斜体</b>で印刷する。</p> <p>b) その他の、例えば単語又は数を表す添字は、ローマン体（直立体）で印刷する。</p>	$f=ma, E=mc^2$
単位記号	<p><b>立体 (Roman)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 単位記号は複数扱いしない(単位記号は常に単数)。</li> <li>- 単位記号は原則として小文字で表すが、その名称が人名に由来する場合は記号の最初の一文字は大文字で表す。</li> </ul> <p>[例外] L又はl：リットル</p> <p>2つの記号は同等だが、数字の1と混同を避けるためLの使用を推奨する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 単位記号と単位の名称の混用は不可 (meter/s は不可、正しくは m/s)</li> <li>- SI単位と併記してよい単位</li> </ul> <p>時間：分 min 時 h 日 d</p> <p>体積：リットル l, L</p>	$g=10 \text{ m/s}^2$  Pa：パスカル $\Omega$ ：オーム
合成単位記号 (接頭語+単位記号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 接頭語は単位記号の前に置き、空白(スペース)などで単位を分割しない。</li> <li>- 接頭語を複合させて使ってはならない。</li> <li>- 接頭語を単独で使ってはならない。</li> </ul>	mg, nm $1 \text{ cm}^3 = (10^{-2} \text{ m})^3 = 10^{-6} \text{ m}^3$
2個以上の単位記号の積や除	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 除算の意味での斜線(/)は原則1度のみ使用可。</li> <li>- 単位記号が連続する場合(積算)には、間に中黒点(・)か、半角スペースを挿入。</li> </ul>	$\text{m/s}^2, \text{m} \cdot \text{kg}/(\text{s}^3 \cdot \text{A})$ N・m 又は N m
数学記号	数学記号は立体で書く。	$dy/dx, e^x, \log x$ (変数は斜体)
小数点の記号	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 小数点の記号に関しては、ピリオドかカンマのどちらかを使用。同一文書中でのピリオドとカンマの混用は不可。</li> </ul>	$g = 9.806 65 \text{ m/s}^2$

	字体や書き方のルール	例
桁が多い場合	- 桁が多い場合、位取りのための3桁ごとのカンマの使用はしない。半角の空白を用いて3桁ごとのグループに分けるのは可。小数点の前後にある4桁の数字を表す場合には、1桁だけ分けるための空白を挿入しないのが望ましい。	
数(又は量)の前の正符号(+) または負符号(-)	- 数との間にはスペースを入れない。	-7 °C、+5 °C
演算等	- 演算に対しては正又は負の符号の両側にスペースがなければならない。 - =、<、> のような関係を示す符号の両側にはスペースを設ける。 注1 斜線 “/” は除く 注2 我が国では、スペースを入れなくても良い。	5 + 2、 $n \pm 1.6$ $D < 2 \text{ mm}$

## 3. 間違いやすい表記

	記載方法、注意点等	例
微生物 学名	- 属名と種名は <b>斜体</b> で記載する。 属名の最初の文字は大文字、種名の最初の文字は小文字。サルモネラ属菌など、種名が同定できない場合は、属名の後に <b>立体</b> で「spp.」をつける。	・大腸菌 <i>Escherichia coli</i>  ・サルモネラ属菌 <i>Salmonella</i> spp.
技能試験における統計量	- $z$ スコア:「 $z$ 」は <b>斜体</b> で表記する。 - $E_n$ 数: <b>斜体</b> で表記する。	$ z  > 2$ $ z  \leq 2$ $ E_n  > 1.0$
不確かさ	標準不確かさ、拡張不確かさ及び包含係数を表す記号は斜体で記載する。	標準不確かさ: $u$ 合成標準不確かさ: $u_c$ 包含係数: $k$ 例 $k = 2$
マイクロ	<b>立体</b> で記載する。 (明朝体で記載すると立体設定でも斜体に見える( $\mu$ )ため、JAB 発行文書(認定証含む)では Times New Roman 体 ( $\mu$ ) もしくは Arial 体 ( $\mu$ ) で記載する。)	$\mu$ (Times New Roman 体) $\mu$ (Arial 体)
全量フラスコ 全量ピペット	メスフラスコ、ホールピペットの用語は使用しない。	-
試験規格の一部を変更して使用する場合	JAB 発行文書(認定証含む)では、「一部変更(変更点を記述)」と付記するか、または変更内容を具体的に明記する。 注1:「準拠」は特定の基準に則ることを意味するため使用しない。 注2:「準用」は本来の目的と異なる用途に特定の基準の一部を変更して用いることを意味するため、あらゆる変更を表現する目的には適さないので使用しない。	試験規格:一部変更( 使用 ) 試験規格: を に変更

## 4. Microsoft Word における半角記号の例

	MS 明朝	Times new roman
	日本語 (全角)	英語(半角)
度		°C 記号「度(°)」 + C
不等号		≤≥ 記号
プラスマイナス	±	± 記号
マイクロ	μ	μ 記号

【入力方法】\*Microsoft Word におけるごく基本的な入力方法を紹介するもので、PC によっては下記の限りではない。

- 「ど」を変換すると「°」(全角)が選択肢に出てくる。それを Times new roman などにフォント変換すると「°」(半角)になる。記号挿入でも入力可能。
- 「≤≥」(半角)は記号挿入で入力する。
- 「±」(半角)は「ぷらすまいなす」の変換で現れる「±」(全角)を Times new roman などにフォントを変更する。または記号挿入でも入力可能。「μ」(半角)も同様。

以上

附則:本文書の改廃は認定センター長の承認による

様式番号 JAB NF01 REV.2

## 改定履歴

改定番号	改定内容概略	発行日	文書責任者	承認者
0	新規発行	2015-10-01	副センター長(LAB)	事務局長



**公益財団法人日本適合性認定協会**

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1 丁目 22-1

五反田 AN ビル 3F

Tel.03-3442-1217 Fax.03-5475-2780

本協会に無断で記載内容を利用、転載及び複製することを固くお断りいたします。